

津波警報等の情報文の改善に伴う 漢字かな・コード電文の変更内容

1 データ種類コード

(1) 対象電文

津波警報・注意報、津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）、津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）、津波情報（津波観測に関する情報）、津波情報（沖合の津波観測に関する情報）、津波予報（若干の海面変動）、津波観測に関する一覧データ、地震情報（震源に関する情報）、地震情報（震源・震度に関する情報）、各地の震度に関する情報

(2) 変更内容

電文ヘッダー部のデータ種類コードを、以下の通り変更する。

電文名	現行	変更後
津波警報・注意報	ツナヨホ 1 ツナヨホ 3 ツナヨホ 6	ツナヨホ 11 ツナヨホ 13 ツナヨホ 16
津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）	ツナヨホ 1 ツナヨホ 3	ツナヨホ 11 ツナヨホ 13
津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）	ツナジヨウホ 1 ツナジヨウホ 3	ツナジヨウホ 11 ツナジヨウホ 13
津波情報（津波観測に関する情報）	ツナジヨウホ 1 ツナジヨウホ 3	ツナジヨウホ 11 ツナジヨウホ 13
津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	-	ホキイツナミ 11 ホキイツナミ 13
津波予報（若干の海面変動）	ツナジヨウホ 1	ツナジヨウホ 11
津波観測に関する一覧データ	ツナカンソクイラン 3	ツナミイラン 13
地震情報（震源に関する情報）	シンゲンソクホ 1	シンゲンソクホ 11
地震情報（震源・震度に関する情報）	ゼンコクサイモ 1	ゼンコクサイモ 11※
各地の震度に関する情報	チイチテンシト 3	チイチテンシト 13

※地震情報（その他の情報）の「ゼンコクサイモ 1（電文種別コード 87）」は存続

(3) 移行措置用電文における対応

現行のデータ種類コードを使用する。沖合の津波観測に関する情報については、現行の津波情報（津波観測に関する情報）により発表する。

2 電文種別コード

(1) 対象電文

津波警報・注意報、津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）、津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）、津波情報（津波観測に関する情報）、津波情報（沖合の津波観測に関する情報）、津波予報（若干の海面変動）、津波観測に関する一覧データ、地震情報（震源に関する情報）、地震情報（震源・震度に関する情報）、各地の震度に関する情報

(2) 変更内容

コード部の電文種別種類コード（aa）を、以下の通り変更する。

電文名	現行	変更後
津波警報・注意報	01（近地） 02（遠地） 03（両方）	30 (近地・遠地の区別なし)
津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）	04（近地） 05（遠地） 06（両方）	31 (近地・遠地の区別なし)
津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）	10	32
津波情報（津波観測に関する情報）	11	33
津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	-	34
津波予報（若干の海面変動）	12	13
津波観測に関する一覧データ	16	14
地震情報（震源に関する情報）	89	92
地震情報（震源・震度に関する情報）	84	93※
各地の震度に関する情報	91	95

※地震情報（その他の情報）の「ゼンコクイソ1（電文種別コード87）」は存続

(3) 移行措置用電文における対応

現行の電文種別種類コードを使用する。沖合の津波観測に関する情報については、現行の津波情報（津波観測に関する情報）により発表する。

3 電文タイトル等

(1) 対象電文

津波警報・注意報

(2) 変更内容

「電文タイトル」及び「津波警報・注意報の概略」の表現を、津波警報・注意報についての総和表現から、**大津波警報・津波警報・津波注意報**についての総和表現に変更する。

●漢字かな部

【現行の表現パターン】

“津波警報・注意報”

“津波警報”

“津波注意報”

【変更後の表現パターン】

“大津波警報・津波警報・津波注意報”

“大津波警報・津波警報”

“大津波警報・津波注意報”

“大津波警報”

“津波警報・津波注意報”

“津波警報”

“津波注意報”

●コード部

変更なし

(3) 移行措置用電文における対応

新電文の内容を記載する。

4 見出し情報

(1) 対象電文

津波警報・注意報

(2) 変更内容

●漢字かな部

「大津波・津波の津波警報を發表しました」 → 「大津波警報・津波警報を發表しました。」

●コード部

変更なし

(3) 移行措置用電文における対応

新電文の内容を記載する。

5 津波警報・注意報の本文等

(1) 対象電文

津波警報・注意報

(2) 変更内容

1) 「津波警報・注意報の本文」における津波警報等の種類の表記の変更

“<大津波>” → “<大津波警報>”

“<津波>” → “<津波警報>”

“<津波注意>” → “<津波注意報>”

2) 津波警報等の発表、切り替え、解除の表記等の変更

●漢字かな部

記載順序は、以下のとおりとする。

記載優先順	最前の発表状況	最新の発表状況
1	津波なし	大津波警報
2	津波注意報	大津波警報
3	津波警報	大津波警報
4	津波なし	津波警報
5	津波注意報	津波警報
6	津波なし	津波注意報
7	大津波警報	津波警報
8	大津波警報	津波注意報
9	津波警報	津波注意報
10	大津波警報	解除（若干の海面変動）
11	津波警報	解除（若干の海面変動）
12	津波注意報	解除（若干の海面変動）

津波警報と大津波警報の切り替えの場合は、以下の通り記載する。

【現行】

「津波警報の種類を切り替えた沿岸は次のとおりです」

【変更後】

「津波警報から大津波警報へ切り替えた沿岸は次のとおりです。」

「大津波警報から津波警報へ切り替えた沿岸は次のとおりです。」

津波警報発表時の“これらの沿岸では、直ちに安全な場所へ避難してください”の付加文は削除する（警報等の区分に応じた具体的な避難の呼び掛けは別途「解説」に記載する）。

●コード部

上記付加文の削除に伴い、{T OP n1n2n3n4n5n6n7n8n9}のn4（津波警報に対する付加文）のコード番号は常に0（付加文なし）となる。

3) 津波警報等の種類に変更がない場合の「津波警報・注意報の本文」の記載

現行電文では、津波警報等の種類に変更がなく、津波到達予想時刻・予想される津波の高さの更新のみを行った予報区については「津波警報・注意報の本文」を示すコード{T FR rrr f1f1f2f2 x ...}には記述していないが、新電文においては記述する（漢字かな文には記述しない）。この場合f1f1（前の警報・注意報）とf2f2（現在の警報・注意報）は同一コードとなる。

津波警報・注意報の種類を変更する予報区が1つもなく、津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報の更新のみを行う場合、漢字かな文の見出しには

「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報を更新しました。」

と記述し、本文には

「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報を更新しました。

詳しくは津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報を参照してください。」

と記述する。

4) 本文中の表現の変更

「以下の沿岸（上記の*印で示した沿岸）では直ちに津波が来襲すると予想されます。」

→ 「以下の沿岸（上記の*印で示した沿岸）では**ただちに**津波が来襲すると予想されます。」

(3) 移行措置用電文における対応

新電文の内容を記載する。

6 現在の津波警報・注意報の発表状況等

(1) 対象電文

津波警報・注意報、津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）、津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）、津波情報（津波観測に関する情報）、津波予報（若干の海面変動）

(2) 変更内容

「現在の津波警報・注意報の発表状況」、「津波警報・注意報の発表状況に対する付加文」、「取り消し内容」（津波警報・注意報のみ）の表記を変更する。

●漢字かな部

“<大津波>”、“<大津波の津波警報>” → “<大津波警報>”

“<津波>”、“<津波の津波警報>” → “<津波警報>”

“<津波注意>” → “<津波注意報>”

津波警報・注意報についての総和表現

→ **大津波警報・津波警報・津波注意報**についての総和表現

●コード部

T OP のn6、Afn1n2n3n4n5n6n7n8n9 のn8の翻訳文を変更する。

(例)【現行】 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」

【変更後】「現在**大津波警報・津波警報・津波注意報**を発表している沿岸はありません。」

- (3) 移行措置用電文における対応
新電文の内容を記載する。

7 見出し情報に対する付加文

- (1) 対象電文
津波警報・注意報

- (2) 変更内容

過去の災害の引用や、沖合の津波観測値による情報変更であることを伝えるため、TOP の n3 のコード番号を追加する。

【現行】

0:付加文なし

- 1:「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難してください。(改行)
なお、これ以外に津波注意報を発表している沿岸があります。」
- 2:「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難してください。」
- 3:「なお、これ以外に津波注意報を発表している沿岸があります。」

【追加】

- 4:「ただちに避難してください。」
- 5:「東日本大震災クラスの津波が来襲します。(改行)
ただちに避難してください。」
- 6:「沖合で高い津波を観測したため大津波警報・津波警報に切り替えました。(改行)
ただちに避難してください。」
- 7:「沖合で高い津波を観測したため大津波警報に切り替えました。(改行)
ただちに避難してください。」
- 8:「沖合で高い津波を観測したため津波警報に切り替えました。(改行)
ただちに避難してください。」
- 9:「沖合で高い津波を観測したため予想される津波の高さを切り替えました。」
(注) 新電文では1~3は使用しない。

- (3) 移行措置用電文における対応
漢字かな部には新電文の内容を記載する。
コード部では追加された番号(4~9)は使用せず、0(付加文なし)とする。

8 津波到達予想時刻

- (1) 対象電文

津波情報(津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報)、津波情報(各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報)

- (2) 変更内容

●漢字かな部

“津波到達予想時刻” → “第1波の到達予想時刻”
“既に津波到達と推測” → “津波到達中と推測”
“津波到達を確認” → “第1波の到達を確認”

津波情報(各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報)においては、予報区名の後ろに
“(津波到達が最も早い場所)”と記載する。

●コード部

変更なし

- (3) 移行措置用電文における対応
新電文の内容を記載する。

9 予想される津波の高さ

(1) 対象電文

津波警報・注意報、津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）、津波観測に関する一覧データ

（注）津波警報・注意報、津波観測に関する一覧データはコード部のみ。

(2) 変更内容

1) 項目名の変更

●漢字かな部

“予想される津波の高さ” → “予想される津波の**最大波の高さ**”

●コード部

変更なし

2) 予想される津波の高さの表現の変更

マグニチュードが8を超える巨大地震と推定されるなど、地震規模の推定の不確実性が大きいとき、予想される津波の高さを津波警報等の種類に応じて定性的に表現する。

種類	漢字かな部	コード部
大津波警報	巨大	LLL/
津波警報	高い	LL//
津波注意報	なし（記載しない）	L///

予想される津波の高さを数値で表現する場合は、予想区分の幅の高い方の数値を記載する。なお、コード部において、現行では/が末尾に入る場合（ccc/の形）は「以上」を示すものとしているが、変更後は「超」を示すものとする（ただし「津波情報（津波観測に関する情報）」の観測値を表すコードにおいては、末尾の/は現行通り「以上」を示すので注意）。

【現行】

種類	高さ区分	漢字かな部	コード部
津波警報 (大津波)	10m～	1 0 m以上	10L/
	8m	8 m	08LL
	6m	6 m	06LL
	4m	4 m	04LL
	3m	3 m	03LL
津波警報 (津波)	2m	2 m	02LL
	1m	1 m	01LL
津波注意報	50cm	0. 5 m	005L

【変更後】

種類	高さ区分	漢字かな部	コード部
大津波警報	10m～	1 0 m超	10L/
	5m～10m	1 0 m	10LL
	3m～5m	5 m	05LL
津波警報	1m～3m	3 m	03LL
津波注意報	20cm～1m	1 m	01LL

なお、続報において、既出であった予想される津波の高さが更新される場合、漢字かな部の高さの欄の左に#が付加されるが、これには津波警報等の種類が変化せず高さが下方修正される場合（10m超→5mなど）や、定性表現から定量表現になる場合（巨大→10mなど）も含まれるので注意。

(3) 移行措置用電文における対応

漢字かな部には新電文の内容を記載する。

コード部には定性的表現の場合は/////を記載する。数値表現の場合は新電文の内容を記載する。

1 0 津波の第1波（観測値）

(1) 対象電文

津波情報（津波観測に関する情報）、津波情報（沖合の津波観測に関する情報）、津波観測に関する一覧データ

（注）津波観測に関する一覧データはコード部のみ。

(2) 変更内容

第1波の高さの記載を削除し、時刻、極性（分かる場合）のみを記載する。

●漢字かな部

“第1波” → “第1波到達時刻”（津波観測に関する情報の場合）

“第1波” → “第1波観測時刻”（沖合の津波観測に関する情報の場合）

高さは記載しない。

極性は、これまでの“(+)”、“(-)”をそれぞれ“押し”、“引き”と記載する。

なお、観測点名称と行を分けて記載する。

●コード部

第1波の高さのコードを常に/////とする。極性のコードは現行通り。

(3) 移行措置用電文における対応

新電文の内容を記載する。

1 1 津波の最大波（観測値）

(1) 対象電文

津波情報（津波観測に関する情報）、津波情報（沖合の津波観測に関する情報）、津波観測に関する一覧データ

（注）津波観測に関する一覧データはコード部のみ。

(2) 変更内容

最大波が観測されていない場合は、現行では“(今後最大波到達)”と記載されるが、電文変更後は津波到達後に観測される津波の高さを「これまでの最大波」として順次発表する。

観測値が予想される高さに比べ十分に小さい場合は、具体的な数値は記載しない。

●漢字かな部

“最大波” → “これまでの最大波”

観測値が予想される高さに比べ十分に小さい場合は、“観測中”と記載し、観測値と観測時刻は記載しない。

●コード部

上記において“観測中”の場合は、最大波の観測時刻と高さのコードを////////// /////とする。

- (3) 移行措置用電文における対応
新電文の内容を記載する。

1 2 津波の推定値

- (1) 対象電文
津波情報（沖合の津波観測に関する情報）

(2) 変更内容

沖合の観測値から推定される沿岸の津波到達時刻及び津波の高さについて、現行の「津波観測に関する情報」では幅を持たせた推定到達時刻や高さを記載しているが、新電文では幅を持たせずに、第1波の推定到達時刻、これまでの最大波の推定到達時刻及び推定される津波の高さを記載する。また、推定される津波の高さについても現行電文では幅を持たせた表現としている場合があるが、新電文では「予想される津波の最大波の高さ」に合わせた表現とする（マグニチュードが8を超える巨大地震と推定されるなど、地震規模の推定の不確実性が大きいときは9（2）2）と同様に定性的表現となる）。

なお、新電文においても、この部分は現行電文と同様、漢字かな部のみに記載する。

- (3) 移行措置用電文における対応
新電文の内容を記載する。

1 3 津波に係る（発表状況に関する部分を除く）付加文

(1) 対象電文

津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）、津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）、津波情報（津波観測に関する情報）、津波情報（沖合の津波観測に関する情報）

(2) 変更内容

{Afn1n2n3n4n5n6n7n8n9}のn4n5n6n7のコード番号を追加する。また、既存のコードについて、一部翻訳文を変更する。津波情報（津波観測に関する情報）においては、漢字かな部の付加文の位置を観測値の後ろに移動する。

【現行】

0:付加文なし

- 1:「~~なお~~場所によっては津波の高さが「予想される津波の高さ」より高くなる可能性（改行）があります。」
- 2:「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますので一層厳重な警戒が必要です。」
- 3:「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますのでより十分な注意が必要です。」
- 4:「場所によっては、検潮所で観測した津波の高さより更に大きな津波が到達し（改行）ているおそれがあります。」
- 5:「今後、津波の高さは更に高くなることも考えられます。」

【追加】

- 6:「警報が発表された沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。（改行）到達予想時刻は、予報区のなかで最も早く津波が到達する時刻です。場所に（改行）よっては、この時刻よりもかなり遅れて津波が襲ってくる可能性があります。（改行）到達予想時刻から津波が最も高くなるまでに数時間以上かかることがあります（改行）すので、観測された津波の高さにかかわらず、警報が解除されるまで安全な（改行）場所から離れないでください。」

7:「津波による潮位変化が観測されてから最大波が観測されるまでに数時間以上（改行）かかることがあります。」

8:「上記は沖合での観測値であり、沿岸では津波はさらに高くなります。」

(3) 移行措置用電文における対応

漢字かな部には新電文の内容を記載する。

コード部では追加された番号（6～8）は使用しない。

1 4 津波警報等の解説

(1) 対象電文

津波警報・注意報、津波予報（若干の海面変動）

(2) 変更内容

●漢字かな部

警報等の区分に応じた具体的な避難の呼び掛けを記載する。

●コード部

変更なし

(3) 移行措置用電文における対応

新電文の内容を記載する。

1 5 予想される津波の高さの解説

(1) 対象電文

津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）

(2) 変更内容

●漢字かな部

予想される津波の高さに応じた具体的な被害を記載する。

●コード部

変更なし

(3) 移行措置用電文における対応

新電文の内容を記載する。

1 6 マグニチュード

(1) 対象電文

津波警報・注意報、津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）、津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）、津波情報（津波観測に関する情報）、津波情報（沖合の津波観測に関する情報）、津波予報（若干の海面変動）、津波観測に関する一覧データ、地震情報（震源に関する情報）、地震情報（震源・震度に関する情報）、各地の震度に関する情報

(2) 変更内容

震源要素の速報において、マグニチュードが8を超える巨大地震と推定される場合の表現を追加する。

●漢字かな部

“地震の規模（マグニチュード）は8を超える巨大地震と推定されます。”と記載する。

●コード部

マグニチュードのコードmmを“8/”とする。

- (3) 移行措置用電文における対応
漢字かな部には新電文の内容を記載する。
コード部では//（不明）とする。

1 7 地震情報の付加文（津波警報等の発表状況）

- (1) 対象電文
地震情報（震源に関する情報）、地震情報（震源・震度に関する情報）、各地の震度に関する情報
- (2) 変更内容
日本国内で津波警報・注意報が発表中であるか否かを示す付加文を以下の通り変更する。
【現行】
0:付加文なし
1:「津波警報等（警報あるいは注意報）を発表中です。」
【変更後】
0:付加文なし
1:「津波警報等（**大津波警報**・**津波警報**あるいは**津波注意報**）を発表中です。」
- (3) 移行措置用電文における対応
新電文の内容を記載する。

1 8 その他

- (1) 対象電文
津波警報・注意報、津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）、津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）、津波情報（津波観測に関する情報）、津波情報（沖合の津波観測に関する情報）、地震情報（震源に関する情報）、地震情報（震源・震度に関する情報）、各地の震度に関する情報
- (2) 変更内容
1) 漢字かな部の文章について、文末に句点（。）を付ける形にする。
2) 漢字かな部末尾の“津波情報〇号”を削除する（津波情報のみ）。
- (3) 移行措置用電文における対応
新電文の内容を記載する。ただし“津波情報〇号”はつける。